

ウォーキング

員弁街道を歩く

令和5年9月16日（土）

1. ルート 三岐鉄道東藤原駅～前川橋～阿下喜駅～上山田橋～
員弁警察署東～北勢線楚原駅

12.0km（17,500歩）

2. 参加者 伊藤利男・伊橋健治・喜吉 雄・伝田 貢
中村 衛・中村軍志・福本 泉・濱田 一

8名

3. ドキュメント

近鉄富田駅で三岐鉄道に乗り換えて東藤原駅に降り立つ。山の麓の小さな駅に似つかないようなハイカラな駅舎である。太平洋セメント工場の傍を通り員弁川に架かる前川橋を渡るコースを辿る。この員弁川の名称は上流部だけであり桑名市内に入ると町屋川と呼ばれるようになる。



東藤原駅の駅舎



太陽セメントの工場



員弁川の清流



前川橋で振り返ると藤原岳

周囲を田園に囲まれた道を辿って阿下喜の町に辿り着く。この頃から厳しい暑さを感じるようになる。国道 306/365 号を横切って現在工事中の東海環状高速の高架下で一休みする。ここからが員弁街道で桑名まで通じている。町中に大西神社が祀られていてそこにユニークな看板が掲げられていたのでパチリ・・・。北勢線の終点駅阿下喜の北側を通過して線路に沿って東進する。



阿下喜の大西神社



ユニークな注意書き

北勢線に沿った道と員弁街道の分岐のところでは二回目の休憩を摂る。みんなの着ているシャツは汗でビッショリ鉢巻のバンダナを絞ると水が滴り落ちる。左にコースを取り県道 5 号線に出る。本来、街道を歩く予定であったけれど少しでも距離の短い行程を選び、県道を歩く。実は私も暑さに負けたのかカメラのシャッターを押すのを忘れてこれ以降の記録写真は一切なしとなりました。

この暑さ覚悟はしていたものの予想以上で 20 年以上参加して歩いている一人は今迄で 2 番目の厳しいウォーキングになったと喋っていた。それもそのはず、桑名市の 12 時のアメダスの記録によると気温 35℃ 湿度 75% 風速 2.6m 熱中症危険となっていた。麻生田では陰を求めてマンションの北側で休憩を摂り、アイスクャンディのガリガリ君を買い求めて身体を冷やし一息つく。昼食の飲食物を買い求める楚原のスーパーに辿り着いたのは 1 時前であった。この近くの楚原神社で昼食を摂る予定にしていたけれどもスーパー内にフードコーナーが設けられていたので冷房の効いた極楽の場所をお借りして昼食を摂る。この酷暑の中、全員完歩できたものの反省の残るウォーキングになってしまったことを悔いるのであった。三岐鉄道北勢線楚原駅で小さな電車に乗り込んで桑名駅に向かい帰路に就く。



楚原駅の前で



北勢線の小さな電車